

## 徹底した5Sで社風を変える

神奈川県

新納

政光



の片付け方を見て、今まで自分がやっていた掃除とは全然違うと愕然としました。

同年9月沖繩フェンスクリーンプロジェクトに参加。基地反対派が普天間基地のフェンスに大量のテープを貼り、街を汚していました。「日本を美しくする会」のメンバーなど六十数人が、テープを剥がし側溝のゴミを片付けました。そのときに鍵山相談役と出逢い、そのお考えに深く感銘を受け、掃除なら自分にもできる、掃除により社風を変えたいと心を決めました。

翌2015年、システムジャパン亀井民治社長による、鍵山掃除道を取り入れた社内5S活動を推進する「SJクラブ」を見学した際に、中小企業の社員が堂々とプレゼンするなどの姿を見て、衝

撃を受けました。

2017年、不転の決意で「5S」活動を始めました。社員は仕方なく参加していましたが、次第に「あつという間に時間が過ぎて楽しかった」「連携が大事だと痛感した」などの意見が出るようになり、会社の風通しがよくなってきました。

掃除を徹底してやり出してから、未回収やクレームなどがなくなり、お客様が事務所前で「靴のまま上がっていいでしょうか」と聞くようになるほど見違え、客層も変わってきております。

事業継承にも、人材育成が急務です。普通の人が普通の仕事として成り立つ会社になりたい。その具体策として、5S活動に徹底的に取り組んでいきます。

(245-0067神奈川県横浜市戸塚区深谷町1489-1)

私は、横浜市で建設機械販売などのレンタル業を営んでいます。1983年の創業です。

2014年4月、神奈川県大和市の「大和掃除に学ぶ会」で徹底した掃除のやり方や掃除道具

## 大分掃除に学ぶ会の歩み

大分県 矢野<sup>やの</sup> 雅則<sup>まさのり</sup>



大分掃除に学ぶ会は、1999年3月、異業種仲間との平和市民公園でのトイレ掃除で発足しました。その後街頭清掃を加えて活動した、四半世紀の歩みを振り返ります。

私は創業時からローヤル様にお世話になり、鍵山社長様から「事

業は経営者の心の持ち方が大切」だと学びました。東京ローヤル本社での周辺の清掃活動やトイレ研修を見学して感銘を受け、風土活性化と社員育成のために、自社にも清掃活動を取り入れました。

大分県大会のことです。北九州、田川飯塚掃除に学ぶ会などの支援を頂いて、2009年に第1回大分県大会を開催し、大分市立坂ノ市中学校で生徒など計201名が参加しました。現在までに10回を数えます。このころ、県内の玖珠、中津、日田にも掃除に学ぶ会の輪が広がりました。

次に、街頭清掃のことです。2010年「街をきれいに」をテーマに、地元の企業有志と大分駅前での街頭清掃を始めました。毎月第2日曜日朝6時から1時間、中学校

生、社会人が参加しています。

2019年には、地元の企業様とJR豊後竹田駅のトイレ清掃を行いました。さすが郷土愛で熱心に徹底して取り組み、見事に仕上がりました。

2020年の街頭清掃15年・トイレ清掃200回記念では、高校サッカー部の女子生徒と、神社清掃を6回に分けて行いました。

皆さまの笑顔から、達成感とともに、手を加えれば物の価値が芽生えることを感じられたことが伝わってきて、感動しました。

社内では、社員さんの心の持ち方も変わり、日々の仕事に活用してくれたようです。日本を美しくする会のお陰で、大分でも実践を続けます。

(870)137 大分県大分市宮崎台3丁目2

## 菩薩様のような 鍵山秀三郎先生

福岡県

矢加部やかべ

尚武なおたけ



2006年、筑後市主催の鍵山秀三郎先生の講演を聞きました。私は先生のこととは他で聞いており、掃除に目覚めたころでした。

先生の、大企業経営者にもかかわらず大変謙虚で、しかも黙して人に癒やしを与える立ち居振舞に、「世の中にはこんな方が

いるんだ」と大変感動し、一遍に魅了されてしまいました。

講演会のあと、桑野照史市長と友人の武久和生氏らによる鍵山先生を囲む食事会に入れてもらいました。そのとき、桑野市長が鍵山先生に謝礼を渡そうとするのですが、どうしても受け取られません。挙げ句、先生は「掃除に学ぶ会の設立資金にしてください」と言われました。

先生は静かに食事されていますが、誰よりもオーラがあまりました。同年、武久氏初代会長による「筑後八女掃除に学ぶ会」が発足します。私は2019年、そのバトンを引き継ぎました。

翌朝、私はもう一度鍵山先生にお会いしたいと、矢も楯もたまらず武久氏の会社に行きました。

鍵山先生とお会いすると、何も言わずに涙がぼろぼろと湧き出てしまいました。菩薩様にお会いしたような不思議な感覚でした。私がひとしきり泣いている間もその後も、鍵山先生は何もお話しにならず、ただじっと私を見守っていらっしやいました。

私は大きな菩薩様に抱かれていたような気持になり、その後何もなかったかのように普通にご挨拶し、一緒に筑後小学校の掃除の実習に行きました。

鍵山先生は、どこにいるのかわからないくらい黙々と便所掃除をされていました。威圧感もやっける感もなく、清掃されていました。大変たいへん大きな方だと、また感動いたしました。

## そうじ

神奈川県

横田 よこた

南嶺 なんれい



中学生のときだったか高校生のときだったか記憶が定かではありませんが、担任の先生から「そうじについて作文を書くように」と言われました。

私は、そのころ生徒が登校する前に、学校の廊下などの掃除を日課にしていましたので、掃

除が如何に大切であるか、人が生きるということは、その環境から如何に大きな影響を受けるか、心をきれいにするにはまず掃除からだ」と、一所懸命に書いて担任の先生に提出しました。

担任の先生は、じつと私の作文を読んで、笑いをこらえきれないようでありました。私はいったい何がおかしいのかわかりませんでした。先生は、もうおかしくてたまらないという様子で、「掃除の作文ではないよ、こんどの卒業式に卒業生を送る送辞の作文を書いて欲しいと頼んだのですよ」と言われました。

在校生を代表して送辞を読むということだったのでした。当時の私は、「そうじ」といえば「掃除」のことしか頭になかったので

した。

出家して禅宗の僧侶になってからというもの、掃除は朝起きて顔を洗うように日課となりました。それは今も続いています。ただ、あまりにも日常になりすぎてしまうと、つい惰性になっていないかということを反省します。

鍵山秀三郎先生とのご縁をいただいて、なお一層掃除の大切を肝に銘じています。掃除は日々新たに、常に新鮮な気持ちで、少しでもきれいにしよう、みんな気持ちを爽やかにしてあげようと願う気持ちを持っていないかならないと自ら言い聞かせています。

(247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内409

臨濟宗大本山円覚寺)

## トイレ掃除に恋して25年

山口県

山口県 松村 久



私は、1990年坂田道信先生の「はがき道」を始め、全国のイベントに参加し、掃除とのお縁ができました。

1997年宇部市の友人が開催した掃除の会に、下関市から私たち3〜4人が手伝いに行きました。それがとても心地よかったです。

ため、中小企業の社長に声掛けして、翌月から14、5人で始めたのが、下関掃除に学ぶ会です。

当時魚市場に勤務していましたが、ゴミやタバコの吸殻が散らかり、とても汚い状態でした。

1年後、「日本一のフグ市場を日本一きれいに」のスローガンを掲げ、社員と清掃を始めました。3年過ぎるころには、かなりきれいになりました。

あるとき、社員に「相談役が市場見学にお出でになる」と伝えると、彼らは私に恥をかかせないよううにと思ってか、トイレ掃除をしてくれたのは、本当に嬉しく思いました。相談役は、来られてすぐトイレに行かれたのには驚きました。

下関の掃除は、トイレ掃除と

街頭清掃が二本柱です。

トイレ掃除は月一回行います。

街頭清掃は、2018年から新下関駅、下関駅、長府駅、東駅（バス停）、山の田の5か所を、15日と30日の月2日、朝6時半から1時間清掃しています。

各自自分の行きやすい場所に参加します。山の田は郵便局の方を含む15人くらいで花を植えたり、東駅では2〜3人です。

街頭清掃は、地域の人が自分の街に愛着を持つ、意義ある活動だと思えます。ラインで互いに報告すると、やる気も出ます。

高齢化するなか、掃除の意義や楽しさを伝えるためには、若返りやITのできる人をつくることなどが重要だと考えています。

(751-0832)山口県下関市生野町2-18-6

# 人生の根底を変える掃除

東京都

千種<sup>ちくさ</sup>

敏夫<sup>としお</sup>



若かりしころのわが人生は、どれほど傲慢、短期、自分勝手、自己中心な人間だったかと思いません。タバコのポイ捨て、ビンや缶の投げ捨ても平気で行っていました。仕事ではスポーツカーに乗ってカッコつけ、「これが自然

な自分だ」と思っていました。

そんな人生を変える大きな衝撃を受けたのが、1993年2月の鍵山掃除道のトイレ掃除です。「なんでトイレ掃除？」の興味から始まりましたが、瞬く間に全国の大会に参加する自分がおり、体験すればするほど、きれいになる便器とともに、心の中の清々しさや気持ちよさを味わう不思議さを感じていました。

自分ではわかりませんが、いつしか家族や友達から「お前、変わったな」と言われるようになり、掃除を積み重ねることで穏やかな自分となり、今まで気づかなかったことに気づけるようになっていきました。

さらに自己中心から、相手のことを思うようになり、相手が

喜ぶこと、相手の立場に立つて行動をするようになったのは自分でも驚きでした。今までにない宝を得たように思えます。これが掃除のすごさ！「たかが掃除、されど掃除」ではと思います。

掃除をすることで、その周りがきれいになる。その気持ちよさは誰もが好きと認めるところ。好きな気持ちの積み重なりは、心の改善につながり、荒んだ心を穏やかにしてくれます。

掃除は、いくらやっても奥深く、「継続は力なり」となる。だから、続けたいくなるのかも。社会や世界を変える素晴らしいツールだと思えます。過去の自分が今の自分に変わったかのようにな……。また少し成長できたのだろうか。

(194-0043 東京都町田市成瀬台2-30-14 C 303)

一番磨かれたのは、  
「自分自身」だった

長野県

太田<sup>おおた</sup>

智明<sup>としあき</sup>



根気のない私が、なぜここまで  
お掃除を続けられる人になった  
のか。

それはまだ小布施にお掃除の会  
がなかったころのことです。私が  
県外のお掃除に参加すると、「長  
野から一人で来たの?」と驚かれ、  
「えっ?先生なの?」これからはこ

ういう先生でなきゃ」とか、そして  
別れ際には、「太田さんが長野で頑  
張っているなら、俺も頑張るよ」な  
どど、何人もの方から激励された  
のです。たった一日、偶然同じ班で  
一緒にお掃除しただけで、もう二  
度と会うことはないかもしれない  
のに、何人の方が旧知の仲であ  
るかのように固く握手をして、本  
気で応援してくださったことが、  
本当に嬉しかったです。

長野の冬は特に厳しく、寒い  
雪の朝もあります。「今日一日く  
らいやらなくてもいいか」と思っ  
たことは、正直何度もありまし  
た。でも、直接会えないけれど  
「太田は今日も頑張っているは  
ず」と信じている方が、この山の  
向こうに大勢いる。それを裏切る  
わけにはいかない、と私は思った

のです。だから私も「〇〇さんは  
今日も頑張っているはず」と信じ  
て、続けてくることができたので  
す。こうした同志の皆さまとのご  
縁が、どれほど私を励まし、そし  
て成長させてくれたことではし  
ょうか。

このことが、のちに「長野便教  
会」の発足(2006年)や、県  
内中学校の清掃活動における  
横断的な取り組みである「長野  
県中学校清掃サミット」の開催  
(2008年)につながってい  
きました。

こうしてこれまでの歩みをふ  
り返ると、一番磨かれたのは便器  
でも床でもなく、「自分自身」だっ  
たのです。皆さまのお陰です。厚  
くお礼申し上げます。

## 私の掃除は「二刀流」

大阪府

小南<sup>こみなみ</sup>

昭雄<sup>あきお</sup>



私が初めて鍵山相談役にお会いしたのは、1996年、箱根にあるイエローハットの保養所で開催された志ネットワークの会合でした。翌朝小雨が降る中、保養所付近の掃き掃除をしました。

紅葉の時期で落ち葉が多く、掃除をしたそばから葉っぱが落ちてくる有様で、私は内心「今掃除をする必要があるのかな」と

思っていると、相談役が「掃いた後に落ちてくる落ち葉は綺麗でしょう」と言われ、目から鱗が落ちる思いがしました。掃く前に落ちていた落ち葉と、掃いた後に落ちてくる落ち葉では、雲泥の差があり、「掃除は心を磨いている」とを教えられました。それまでも掃除はしていましたが、この出来事で私の掃除に対する意識が変わりました。

2016年、「大阪掃除に学ぶ会」で、代表下正晴さんに「タニサケ塾」を紹介いただき参加しました。松岡会長から「他者中心の生き方が大事ですよ」と教えてい

ただき、その翌月から一人掃除に学ぶ会(月1回)を立ち上げ、今年で6年目を迎えます。

「二人掃除に学ぶ会」では、自宅近くの小学生の通学路が、雑草やフェンスから伸びてくる蔓(つた)で汚く狭くなるため、「気持ち良く通学して欲しい」と思いながら掃除をしています。「こんなことをして意味があるのかな」と思ったこともありましたが、鍵山相談役からお聴きした「益はなくとも意味はある」の言葉や、通りすがりの方からの「ご苦労様です」の声に勇氣づけられて、今日まで実践してきました。

「大阪掃除に学ぶ会」と「一人掃除に学ぶ会」の「二刀流」を、分に応じて続けたいと思います。